

【Quick Taq® HS DyeMix トラブルシューティング】

トラブル	考えられる要因	対策
増幅産物が見られない。 増幅量が少ない。	サイクル数が少ない。	サイクル数を 2~5 サイクル程度増やす。
	プライマーの問題。	プライマーの品質を確認する。→再調製・再合成する。 プライマーを再設計する。
	鋳型DNAの純度が低い。	鋳型DNAの純度を確認する。→鋳型 DNA の精製度を上げる。
	鋳型 DNA 量が少ない。	適量の鋳型 DNA を使用する。
	菌体量が多い。	菌体(コロニー)持ち込み量を減らす。
スメア、エキストラバンドが 見られる。	サイクル数が多い。	サイクル数を 2~5 サイクル程度減らす。
	プライマー濃度が濃い。	0.1~0.2 μ M を中心に検討する。
	アニーリング温度が低い。	55~65°C を中心に検討する。
	プライマーの問題。	プライマーの品質を確認する。→再調製・再合成する。 プライマーを再設計する。
	鋳型DNA量が多い。	適量の鋳型 DNA を使用する。